

(別紙様式1)

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	笠松町立下羽栗小学校		
実 施 期 間	平成25年11月16日(土)		
実 施 概 要	・ファミリー参観 ・親子ふれあい活動(校内オリエンテーリング)		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	270人	計 299人
	地域関係者	29人	
実 施 状 況	・学校の教育目標「ひとりだちのできる子」の具現に向けて、授業の中でどう取り組んでいるのかが明らかになるように、各学級の授業の様子を、保護者や地域の方々に見てもらった。  ・親子ふれあい活動では、家族のふれあいをさらに深めるため、校内オリエンテーリングを行った。全17コーナーを設け、製作活動や笠松クイズ等に家族で参加した。		
成果及び課題	(1) 参観者の意見や感想 ・子どもたちが生き生きと授業に参加している姿を見ることができ、日頃の学習もしっかり行えていることがわかり安心した。 ・どの子もしっかりとよく考え、自分の意見を発表をすることができていた。 ・親子ふれあい活動は、家族で製作活動やクイズなどに楽しく参加でき、子どもとはもちろんのこと、保護者同士や地域の方々との交流もできてよかった。  (2) 教育週間に関わるねらいの達成状況 ・学校の教育活動の一端を見ていただくよい機会となった。 ・親子ふれあい活動では内容を見直し、地域関係者のコーナーを増やして行ったが、たいへん好評であった。		